



「広島かき」シーズン当初の身入りを促進する技術

～ 広島湾海域の特徴を利用した高品質かき養殖技術 ～

連携機関 | 江田島市水産物等販売協議会
研究期間 | 平成24年度[受託研究]

研究開発のきっかけ

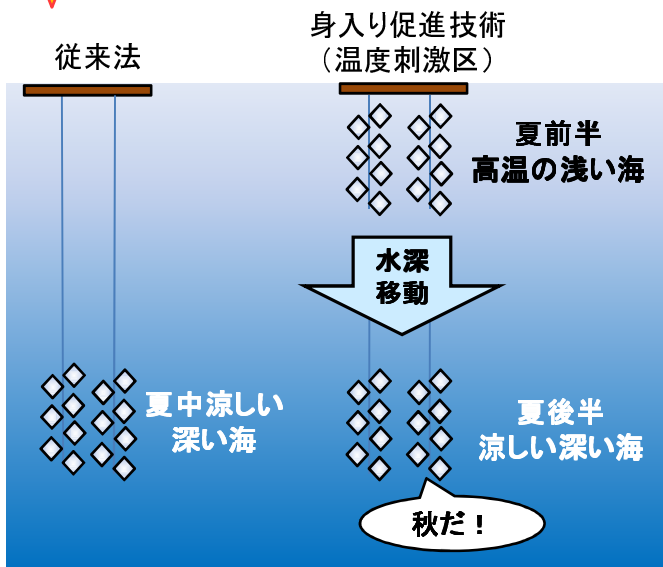
- ◆ 従来のかき養殖法では、シーズン初期に身入りの良いかきができず、他産地との競争に不利でした。
- ◆ かきは水温が下がる秋になると栄養を蓄えはじめます。夏期、水深によって水温差が大きい広島湾の特徴をうまく使って、かきに秋が来たと勘違いさせることで身入りを早めるアイデアが浮かびました。

研究成果の概要

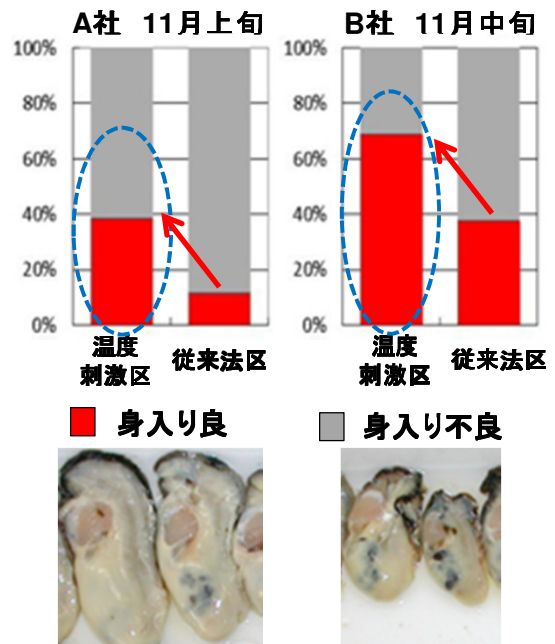
- ◆ 水深によって水温差が大きい夏期に、かきの養殖水深を変えて温度刺激を与えることで、シーズン初期から高品質のかきを生産する「身入り促進技術」を開発しました。
- ◆ 夏に高温の浅い水深で養殖中のかきを低温の深い水深に移すと、かきは秋が来たと勘違いします。
- ◆ シーズン初期(11月)の商品化率(身入りの良いかきの割合)が従来法の約2倍にアップします。



夏の瀬戸内海



温度刺激による身入り促進技術



11月出荷のかきの身入り

研究成果の活用状況

- ◆ 江田島市水産物等販売協議会では、平成25年度に7業者が18台の筏で身入り促進技術でかきを生産しました。生産したかきは東京築地市場へ出荷し「江田島かき」のブランド化に取り組んでいます。
- ◆ 「広島かきの身入り促進の考え方と実施マニュアル」を作成して技術導入する業者の拡大を図っています。